

# 仙台駅 杜の都コンサート

2階スタンドガラス前  
入場無料



## 仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年創立。年間9回の定期演奏会をはじめ、特別演奏会、依頼演奏会、音楽鑑賞教室など年間約120公演に及び演奏活動を展開。仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルなど、本拠地である仙台の音楽文化の振興に大きく貢献している。東日本大震災後は、音楽を被災者のもとに届けながら絆を紡ぐ活動を展開し、2011年度エクソモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞。2013年3月、震災後に世界から寄せられた支援への感謝と被災者を代表してロシア公演を実施。2016年4月には、記念すべき第300回目の定期演奏会を迎えた。常任指揮者にバスカル・ヴェロ、首席客演指揮者に小泉和裕が就任している。



指揮  
新田 ユリ

国立音楽大学卒業後、桐朋学園大学ディプロマコース指揮科に進む。指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。1990年第40回プザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト。1991年東京国際音楽コンクール指揮部門第2位。1991年に東京交響楽団を指揮してデビュー。その後国内主要オーケストラへ客演多数。オペラでは、横浜シテオペラ、大田区民オペラ協議会でモーツァルトの5大オペラ、「夕鶴」などを指揮。2000年10月～2001年10月、文化庁芸術家在外研修員としてフィンランドに派遣され、音楽監督オスモ・ヴァンスカ氏のもとラハティ交響楽団で研修。フィンランド国立歌劇場とサヴォリンナ音楽祭においても、オスモ・ヴァンスカ氏のアシスタントを務める。これまでにクオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、ヨエンスー市管弦楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、フィンランド国防軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ、クリスチャンサン交響楽団などフィンランドはじめ北欧諸国へ客演を続けている。日本シベリウス協会会長。一般社団法人愛知室内オーケストラ常任指揮者。

○公式ホームページ「森と湖の詩」  
<http://www.yuri-muusikko.com>



ギター  
藤元 高輝

1992年東京都北区生まれ。3歳より父からギターの手ほどきを受ける。これまでに村治昇、新井伴典、荘村清志、江間常夫、各氏に師事。同時に国内外のギタリストのマスタークラスを多数受講。作曲を塩崎美幸、植田彰、伊左治直、各氏に師事。指揮を本多優之氏に師事。2008年ドイツ都市（ボン、ケルン、デュッセルドルフ）にてソロコンサートを行う。14年作曲家今村俊博とのパフォーマンスデュオ「s.b.r.」結成。これまでに、ヴァイカースハイム国際ギターフェスティバルコンクール部門第1位（08年）、ハインスベルグ国際ギターコンクール第2位（09年）、コブレントツ国際ギターコンクール第3位（09年）、アジア国際ギターフェスティバルコンクール部門第1位（10年）、東京国際ギターコンクール第1位（11年）、日本ギター重奏コンクール優勝（12年）。フォンテックよりCD「バルトーク／ルーマニア民族舞曲」（07年）、「武満徹ギター作品集」（16年）を発表。



チェロ  
吉岡 知広

1988年生まれ、仙台市出身。桐朋女子高校音楽科（共学）を経て桐朋学園大学音楽部門を卒業。2011年よりドイツ、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に在学するとともに、名門ライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラと学生契約を結ぶ。卒業後はライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラアカデミーに在籍し、研鑽を積んだ。第9回ビバホールチェロコンクール第4位入賞。軽井沢八月祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2009、東京・春・音楽祭2010、宮崎国際音楽祭等に出演。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団に副首席チェロ奏者として在籍。また2016年には仙台フィル、コントラバス奏者の名和俊とデュオユニット、『伊達LOW Strings』を結成し、低音の魅力を全国に発信している。



フルート  
戸田 敦

1969年愛知県生まれ。13歳よりフルートを始める。武蔵野音楽大学、パリ・エコール・ノルマル音楽院ディプロム・コンセルティスト、フランス国立ロマンヴィル音楽学校を卒業。第8回日本管打楽器コンクール入選、マリア・カナルス国際コンクール（スペイン）名誉賞、第1回バカレスト国際青年音楽コンクール（ルーマニア）審査員特別賞（第4位）、第7回日本フルート・コンベンション・コンクール第2位及びオーディエンス賞を受賞。フルートを村田四郎、佐久間由美子、工藤重典、ブノワ・フロマンジェ、室内楽を甲斐道雄、ミカエル・アンツ、バスカル・ルコール、エマニュエル・ニュネスの各氏に師事。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団首席フルート奏者。武蔵野音楽大学非常勤講師。



ヴァイオリン  
神谷 未穂

桐朋学園大学、ハノーファー音楽大学を首席卒業。さらにパリ国立高等音楽院の最高課程を修了。北九州国際音楽祭TOTOクワモプライズ室内楽第1位、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにてバガニーニ賞を受賞。国内外でのリサイタルをはじめ、仙台フィル、新日本フィル、東京フィル、ヘルシンキ・フィルをはじめ国内外のオーケストラと共演し高い評価を得る。現在、NHK・TV（仙台放送局）「ひるはび」にレギュラー出演。平成23年度宮城県芸術選奨受賞。現在、仙台フィルコンサートマスター、横浜シンフォニエッタコンサートマスター、ニューフィル千葉特任コンサートマスター、宮城学院女子大学特命教授。

公益財団法人 東日本鉄道文化財団が主催する企画展のご案内

## 「アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国」展

2017年4月29日（土）～6月18日（日）

東京ステーションギャラリー（JR東京駅丸の内北口改札前）

開館時間 10:00～18:00（金曜日は20:00まで開館）

休館日 5月1日を除く月曜日

入場料 一般 1,100円／高校・大学生 900円

アール・ブリュットの芸術家として知られるアドルフ・ヴェルフリの日本初の大規模な個展です。



紙のトランペットを持つアドルフ・ヴェルフリ（部分）1926年  
ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵 © Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern

## 企画展「JRバス」

開催中～6月25日（日）

旧新橋停車場鉄道歴史展示室  
（JR新橋駅「銀座口」より徒歩5分）

開館時間 10:00～17:00（入館は16:45まで）

休館日 月曜日

鉄道と共に、国鉄・JRのネットワークを支えたバスの歴史を、貴重な写真や模型、図面、映像でご紹介します。

